

- 道央圏連絡道路（国道337号）は、千歳市を起点として小樽市に至る高規格道路であり、新千歳空港、苫小牧港、石狩湾新港及び小樽港を結び、札幌圏における人流・物流の連携を図る重要な役割を果たすものです。
- そのうち、令和6年度の開通に向けて札幌開発建設部が工事を進めている中樹林道路（江別市、南幌町）において、地元・南幌小学校の児童5名とともに、新たに架かる橋梁（幌向運河橋、南7線橋）に橋名板を取り付けました。
- 橋名板は、子どもたちが筆で書いた河川名や橋の名前をもとに製作。取付前には、橋名板の裏面に思い思いのメッセージやイラストを記しました。
- 地域を支えるインフラ整備にこどもの頃から関わることで、地域への理解や愛着が深まっていくことを期待しています。



橋名板裏面にメッセージやイラストを書きました
(取付前しか見ることができません)

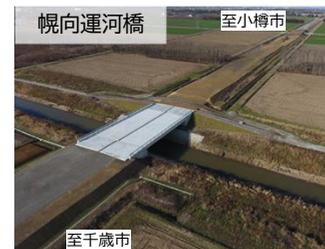


ボルトナットを締めて取付完了！



「幌向運河橋」の上で
記念撮影

【橋梁の概要】



橋 長:25m
橋梁形式:PC単純中空床版橋
逆T式橋台



橋 長:24m
橋梁形式:PC単純中空床版橋
逆T式橋台

★ 南幌小の皆さん、ありがとうございました ★